

特定非営利活動法人アサザ基金 第21期 活動報告

2019年4月1日～2020年3月31日

2019年は日本列島が大型台風等の自然災害に見舞われ、各地で大きな被害が発生しました。当基金の活動でも、草取や稻刈イベントが中止になりました。このような自然災害が大規模化しています。さらに、新型コロナウィルスが世界中への蔓延はこれまでの社会システムを根底から見直す必要を人類に迫っています。

○ 環境教育事業

- 牛久市内におけるESD環境学習事業が選択制となり、9校で出前授業を実施しました。(43回3021名)
- 霞ヶ浦流域では、石岡市、鹿嶋市の小学校で、その特色に合わせた環境学習授業を実施しました。(4回71名)
- 秋田県では、NPO法人草木谷を守る会の依頼を受け、リキノスケ未来塾に6回、潟上市や三種町の小学校4校で、環境学習を進めました。(18回560名)
- 北九州市では曾根東小、すがお小、市丸小において環境学習授業を継続しました。(11回552名)
- 岡山県では、岡山エコサポートーズの要請を受け、森に囲まれた真庭市立中和小と瀬戸内海に面する岡山市立小串小を訪問。両校の子どもたちが、互いに訪問して交流する授業を実現しました。(8回171名)
- 島根県の小中一貫校、八束学園で環境学習授業とオゴノリ刈体験に協力しました。(1回24名)
- 北海道では、NPO法人シマフクロウエイドの活動に協力し、霧多布小、茶内小でシマフクロウをテーマに出前授業を行いました。(10回144名)
- 三重県の七保小で久しぶりに獣害をテーマに総合の授業をしました。1/18には、当基金のコーディネートで秋田未来塾と七保未来塾の有志が初めて交流しました。(2回56名)

○ 霞ヶ浦の水辺の保全と再生事業

1. 企業や市民、保育園の子どもたちがアサザの植付をしました。

7/3 玉里東小 4-6年生 23名 8/24 日立金属10名 根田
9/3 納場保育園 45名 浜
2. アサザの里親活動
奥原のDNP(大日本印刷)敷地内池のアサザが満開となりました。
阿見町の予科練平和記念館敷地内の雄翔園にも、新宿カッパ村有志の協力をいただき、アサザを植えました。今年は株数を増やしましたが、アオミドリが大量に発生しました。
3. 潮来市より委託を受け、水郷トンボ公園の維持管理をジャランボPJとも連携して実施しました。6/30 コカ・コーラライーストジャパングループ労働組合の有志にもボランティアで協力いただきました。(58名)

○ 水源地保全事業

牛久市上太田●NEC 田んぼづくりプロジェクト with アサザ基金（2010年～）
田植 5/18 稲刈 9/28 NCOS 新人研修 6/1 計 200名
牛久市遠山●三井物産谷津田再生プロジェクト（2007～）
田植 4/27 草取 7/20 稲刈 9/7 仕込 2/15 開拓者コース
計 176名
●一橋大学大学院 海外留学生との谷津田再生プロジェクト（2014年～）
田植 6/16 草取 7/7 稲刈 10/6 計 53名
●SUZUYO いいね！プロジェクト（2018年～）
田植 5/25 草取台風で中止 10/5 稲刈 計 117名
●かっぽん田プロジェクト（2010年～） SOMPO環境財団ラーニング
生（大学生）主体の援農活動
田植 5/26 草取 6/30 稲刈合宿 10/5-6 収穫祭中止 計 58名
牛久市奥原●ホギメディカル谷津田再生プロジェクト（2009年～）
機械が導入できず人力で取組みました。雀対策が課題です。
田植 6/8 草取 7/6 酒仕込 2/22 稲刈収穫出中止 計 207名
鹿嶋市山之上●UBS RICE Project（2008年～）
田植 5/11 草取 6/15 稲刈 9/29 収穫祭中止 計 336名
桜川市●日立化成 お米で自然とつながろうプロジェクト
田んぼの一部がイノシシの被害を受け、獣害対策に追われました。
田植 4/20 草取 6/22 稲刈 9/14 2/29 山桜植樹 計 183名

○ 耕作放棄畠の活用

牛久市奥原にある耕作放棄された畠で「ビオトープ農法」の活動に取り組みました。農薬を使用しない野菜の収穫体験は、とりわけ幼児いる家族に好評でした。古民家の竹細工を食器に活用、奥野小の観察授業や日曜かっぱ塾でも活用しました。

4/7 ジャガイモ植え 11/17 野菜の種まき 計 36名

○ 古民家を活用した環境保全と地域活性化

牛久市島田地区にある古民家を拠点にした活動は、積水ハウスの助成金を活用して、トイレや屋根の修繕、畳替、ピザ窯や竹ストーブを設置しました。奥野小、二中の総合学習の場として生かしながら、地域住民と連携して、空き家や少子高齢化、放置竹林、森林荒廃、耕作放棄地などの諸問題に取組みました。

8/4-5 宿泊体験 庭にBT造成。牛久二中生有志 8名

8/20 古民家周辺の谷津田で「ふみふみプロジェクト」を開催 18名

11/28 ピザ教室開催 教育長も出席してピザ窯キックオフイベント 30名

年間を通して、職員総出で竹林整備をしたり、駐車場も整備。また、もう一軒空家を借り受け、物置又はシェアハウスとして活用できるか検討しています。

○ UBS の森づくり事業

牛久市クリーンセンター近くにある「UBS の森」は2009年に植樹して10年が経過し、すっかり雑木林として立派な森となりました。シンボルツリーの枝垂桜が、植樹当初から元気がなく、土地改良を試みても大きな成果が見られないのが残念です。

4/13 のイベントには 23 名が参加して、落ち葉かきなどの森の手入れを行い、島田町の古民家に移動して竹細工に挑戦しました。

○ その他

水源地保全のブランド作り

(株)木ギメディカルとかっぱん田 PJ が栽培した無農薬栽培もち米を使用して「湖が喜ぶ煎餅」を小美玉市の大形屋商店に協力いただいて、今年も作りました。水源地の再生、地域活性化、水産資源の保全を目的としています。

自然観察会

7/30 夏休みを利用して、神谷小力ワセミの里、向台小の谷津田で自然観察会を行いました。奥野小、神谷小、向台小の子ども達が参加。昼食を手作りし、木登りなどの自然体験をして交流しました。 16名

花畠プロジェクトへの協力（2011 年～） 日本テキサス・インスツルメンツ(株)美浦工場は、近接地にある耕作放棄地でヒマワリやナタネを栽培し、油を絞って社内で活用しており、その活動に協力しました。

研修生やボランティアの受け入れ

損保ジャパン日本興亜環境財団の「CSOラーニング制度」から 1 名のインターン生を受け入れ、かっぱん田での稻作体験を企画運営しました。田んぼの管理人さんにも協力いただきました

東京環境工科専門学校生 2 名と筑波大学生 1 名をインターンとして受け入れました。

会報の発行

会報「あさぎだより」63 号（2019 年 8 月）64 号（2020 年 2 月）を発行し、会員の皆様や学校、関連企業などの関係者に配布し活動紹介に努めました。

ホームページ運営

リアルタイムで情報を発信できるホームページの活用を充実させることが課題となっています。

講演、視察の受け入れ

講演や大学の講義等において、代表理事の飯島がアサザプロジェクトの活動理念を紹介しました。（6 回）

視察では、弁護士や大学の先生など、16 名を受け入れました。

ご寄附をありがとうございました。

2019 年度の寄付は 5,123,460 円でした。会員の皆様、心ある支援者の皆様のご協力に感謝申し上げます。

イオンのイエローレシートキャンペーンの取組から、総額 56,500 円（4 月 26,600 円、10 月 29,900 円）のご支援をいただきました。

アサザプロジェクトへの参加人数 2019/4～2020/3

環境教育事業 4,599

水源地保全事業 1,330

その他 287

計 6,216名

1995年発足から、アサザプロジェクトへの参加者数は
延べ330,938名となりました。